

令和8年3月23日

四條畷市教育委員会 様

四條畷市立四條畷中学校 校長 河上 弘子
四條畷市立四條畷小学校 校長 香村 紀子
四條畷市立忍ヶ丘小学校 校長 上井 大介

令和7年度 四條畷中学校区学校運営協議会活動状況報告書

四條畷市立学校における四條畷中学校区学校運営協議会活動状況報告書について、下記のとおり報告します。

記

1 活動状況

- 令和7年 4月22日(火) 四條畷中学校 見守り活動開始
令和7年 6月 6日(金) 第1回会議(役割分担、学校経営計画承認、年間計画確認等)
令和7年 9月 5日(金) 第2回会議(学校の状況報告、畷中見守り活動、大掃除等)
令和7年11月29日(土) 大阪電気通信大学が忍小PTA行事(ふれあいフェスタ)へ参画
令和7年12月19日(木) 四條畷小 大掃除参加
令和7年12月22日(月) 忍ヶ丘小 大掃除参加
令和8年 3月 6日(金) 第3回会議(学校報告書意見交換、大掃除・見守り活動振り返り、次年度計画等)

2 成果と課題

本年度も地域とともにある学校づくり」を柱に、四條畷中学校区3校の学校運営協議会委員の皆様、保護者、地域住民等と連携した活動を展開することができた。

【主な成果】

- ① 世代を超えた交流と環境整備の推進
児童生徒と委員が共に行う「大掃除」を実施した。清掃活動を通じて、児童生徒は地域の方々と顔見知りになり、会話も弾んでいたようである。大人たちとともに働き汗を流すことで、参加者と児童生徒とのつながりを深めるとともに奉仕精神の育成と校内環境の美化に大きく寄与した。
- ② 生徒への心理的安全性と居場所づくり

不登校や集団に入りにくい傾向のある生徒などへの多様な支援が四條畷中学校の重要課題の1つであり、将来的には、CSメンバーによる教育支援ルームでの対応や休み時間などの居場所づくり対応をめざして、今年度も引く続き4月当初から放課後の見守り活動や部活動の巡回を行った。今年度の実績は3月11日現在で56回。開放した相談室に、CSメンバーの方々が居てくださり、ボードゲームや折り紙、将棋などをして過ごすなど放課後の居場所を作ることができた。教職員以外の大人との緩やかな関わりが、生徒にとっての安心感につながっている。当初よりも生徒とのコミュニケーションが円滑になってきたように感じる。

③ 地域一体となった「あいさつ運動」の展開

まずは子どもと地域の大人が顔見知りになることから始めるという方針のもと、CSが中心となって作成した「あいさつ運動」のチラシを保護者にも周知啓発して、学校内にとどまらず、地域住民へも発信した「あいさつ運動」を展開することにより、登下校時の見守りに対する意識が芽生えてきたように思う。

④ PTA 行事との有機的な連携

PTA 行事へ協議会委員所属の団体が積極的に参画することで、学校・家庭・地域の三者の連携が進んだと実感する。

【課題】

① 学校運営協議会の活動の周知啓発と担い手の確保

保護者にはまだまだ学校運営協議会の認知が進んでいないことがアンケート等で明らかになっている。市教育委員会も参画し学校HPの活用も始まったもののなかなか広がらない現状である。

また、見守り活動や行事への参加が特定の委員に固定化されつつあるため、今後は少しずつでも地域住民を巻き込めるような仕組みづくりができるとよいと考える。

3. 学校運営に関する評価

学校経営計画に対し、CS委員が主体的に関わる姿勢が定着しつつあり、概ね適正かつ効果的に運営されていると考える。特に、生徒の心のケアに重点を置いた見守り活動は、学校の教育活動を強力にバックアップする取組となっており、学校としてはたいへんありがたい取組である。次年度は、これまでの成果を維持しつつ、学校教職員はもとより、児童生徒や保護者、地域にも活動の周知と参加者を少しずつ広げ、無理なくできる取組が展開できれば良いと考える。